

平成22年6月(2010年) No.534

## 好天に恵まれた大井川鉄道周辺撮影会

恒例の一泊撮影会は、毎年お天気を気にしながらも不思議と悪天候の中止というのがなく、終わってみてヤレヤレとほっとしておりますが、今年も5月15日(土)、16日(日)の両日ともお天気に恵まれました。参加者はOMC会員15名と同行者1名、それに前田会員の知人で掛川にお住まいの竹島氏の合計17名という大盛会でした。なお、今回は現地の事情にくわしく、また大変参考になる貴重な映像その他の資料をご提供いただき、かつ当日は案内役まで引き受けていただいた竹島氏に厚く御礼申し上げます。また、事前のロケハンや資料提供、事務連絡等お骨折りくださった関剛副会長に感謝いたします。

こういう郷愁のSLのある風景を撮影できる機会がいつまで続くか、或いは自らの体力で撮影に行くことができなくなるのか、と思いますと今回の撮影会の思い出と作品は、共に貴重なものになると思います。

◆撮影会作品の公開審査：7月17日(土)午後1時からいつもの例会場で行います。参加された会員は全員の方が出品されることを期待しています。参加しなかった会員も出席して1票を投じて下さい。

◆撮影会参加者：有村、石垣、井上、岩井、江藤、江村、紙本、河口夫妻、河合、進藤、関、錦、前田、宮崎、森田の16名(敬称略)に竹島氏。

◎50周年記念映写会出品作品は原則として6月例会作品までの中より選出します。事情で遅れそうな人やアーカイブ作品を出品したい方は事前に会長までご連絡ご相談ください。プログラム編成会議は7月17日(土)撮影会作品公開審査日の夜に幹事会にて行います。どうぞよろしく。

住所変更のお知らせ：安居利次さん(メルアドは変更ありません)  
 565-0873 吹田市藤白台3-5 OPH北千里駅前3棟1006号

### 6月例会のお知らせ

6月例会は26日(第4土曜日)午後6時より、難波市民学習センターにて開催。皆様のお越しをお待ちしています。作品の方もどうぞ。

**OMC第50回記念映像フェスティバルは10月17日  
(日)地下鉄淀屋橋駅前 朝日生命ホールで開催します**

## OMC撮影会レポート

5月15日～16日に一泊2日で恒例のOMC撮影会を「大井川鉄道及びその周辺」をテーマに実施しました。参加人員17名（うち前田世話役の掛川在住知人竹島さんを含む）でした。17名もぞろぞろと同一行動すると、お互いが撮影の邪魔になるということで、4班に別けて実施しました。レンタカー及び自家用車組2班と徒歩・電車組2班に別けて、それぞれ希望を募り実施しました。自動車組は機動力があるのであちらこちらと撮影場所を多く廻って撮影し、電車組は一箇所に腰を落ちつけて撮影しました。1日は電車で、もう1日は車でまわったという会員もおられたようです。関班は千頭からさらに奥のAPT式鉄道の井川線へ足を延ばし雄大な風景の湖上駅や終点井川駅等で撮影したようです。竹島班は地の利を活かして車を機動的に使って撮影したようです。各班ともSLをはじめ大井川沿線らしい鉄橋や、広いお茶畑、手摘み機械摘みの情景などを撮影しました。

G・Week以外は1日に3往復運行されなかったのが、撮影出来たSL列車本数は5/15に2往復で4列車、5/16は1往復で2列車の全6列車だけでした。今回の撮影会は事前に世話役2名と竹島さんとがSL列車をメインに撮影し、その映像集を関世話役が3本のテープに編集して事前に希望者に頒布しました。撮影会2日間だけのSL映像だけではカット不足になるので、事前配布テープを自由に使ってもOKです。但し、作品の半分以上は自らが撮影した映像を使うということが条件となります。それでもカット不足があるならば、後日自由に撮影に行かれてもよろしいです。

今回の撮影会は4班に別け、それぞれ別の場所で撮った映像が含まれるので、どのような幅の広い作品が出来上がるのか興味津々です。（前田記）

## 5月例会のレポート

今年の気候は気温の上下が激しく春らしい陽気が続かなかったのですが、5月例会ともなるとさすがに曇り空ながら少しむし暑い日となりました。例会を待ちわびた会員さんの集まりもよく、29名の出席者と

15本の作品が出て盛会でした。今月の司会は合原氏、書記は本来なら安居氏でしたがまだリハビリ中でご欠席なので関氏が録画を担当、講評は合原会長が受け持ち、上映担当はいつもの増池、河合、江村3氏が、受付兼照明係は紙本、華岡両氏の担当で会を進行しました。

◆出席者：有村、石垣、井上、岩井、上田、江村、岡本、紙本、河合、黒田、合原、関、進藤、玉井、対馬、錦、西村、華岡、藤原、前田、増池、宮井、宮崎、森口、森下、森田、山本、吉岡、渡辺の29氏（敬称略）

◆上映作品（今月の講評は合原会長です）

### 1. 羅漢坂 (DV)

玉井 勻さん

7分52秒

10年以上も前に撮影されたもので、もはやアーカイブ作品の部類に入るものかも知れませんが、恐らくVHSかHI-8テープでしょう。さすがに現在の鮮明なHDVとは画質の点で比較にならないのは致し方ないところです。ですが作品の方は大変しつとりとした落ちついた内容で情感がありました。お地藏さんの表情もよく山の斜面に点在する御仏は見る人に癒しの気持ちを与えてくれます。ハイビジョンで撮り直したい魅力ある羅漢さんでした。

### 2. 伏見名水探訪 (WIDE)

森口吉正さん

9分30秒

名水紀行については作者独自の境地で、いつも感心しながら拝見しています。今回は京都伏見の名水をテーマに描いておられます。良質の伏流水が名水百選にもあげられている御香水と呼ばれるまろやかな水となり酒づくりの水にもなっています。近くの人も名水を求めて水をボトルに詰めておられ、心易く会話をされているところなど作者ならではのカットです。途中のお祭の場面も深入りせずに、また龍馬ブームのところもさらっと流されて、「名水」のテーマにスジを通されたのは良かったと思います。

### 3. 花博公園は今 (HDV)

有村 博

10分00秒

早いもので鶴見緑地で行われた花博から数えて今年は20年目になるそうです。月日の経つのは早いものだと感じさせてくれた作品でもあります。現在は市内最大の公

園として市民は勿論のこと近郊の人たちの憩いの場になっている様子を描いておられます。回想場面も長過ぎなくてよかったですと思います。いのちの塔の紹介のところで、上から下へのパンニングでしたが、下から上へのパンニングで、上からの俯瞰情景に移ったほうが自然かなと思いました。20周年記念行事のチューリップの花びらを敷きつめて絵を描いたフラワーカーペットを、リフトに乗って上から全景を撮られたカットは秀逸でした。乗車賃200円以上の価値のあるカットでした。上昇して1分間だけというのは他の人が大勢乗っている場合には撮影するのに気忙しかった事でしょう。

#### 4. 岡崎城 (HDV)

紙本 勝さん 6分30秒

こういった歴史ものを多く手がけておられる作者は、今回、大井川鉄道撮影会のついでに前日行って撮られたとか、紙本さんのお元気さには脱帽のほかありません。ついでは言うものの、事前によく調べられて撮られていることが作品の中からも伺えます。歴史ものは、残されているものが少ないので、どうしてもナレーションに頼らざるを得ないところに難点があり、この作品も普段あまり歴史ものに関心の少ない人には少し詳し過ぎてかえって判りづらいところがあります。もう少し解説を短く要点を絞った方がよいように思いました。

しかし、なかなかの努力作でした。

#### 5. 秋・竹田城から・・・

& エリアルイメージ (HDV)

前田茂夫さん 9分10秒

近作に往年の名作「鍛冶屋一代」の一部とフィルム作品をDVテープに変換撮影したときの場面を紹介された後半の部分の二部構成の内容になっています。

本編の「秋・竹田城から・・・」という作品について、以前、紙本さんの竹田城の作品で拝見していましたので大体の様子は判った上で拝見いたしました。トップシーンの隣の山から霧のかかった竹田城跡の姿を撮影するのに大変苦勞されたのだらうと思います。また石垣の美しさもよく表現されていました。作品の後半は山の上から見た列車の走る地上の風景、それに続く地上で

の列車の通り過ぎるカット、再び上からの列車の動くカット。やはり鉄道マニアの作品らしいなあと思いました。ここでやっと「から・・・」の意味が判りました。私の感じでは地上の列車の通り過ぎるカットは少し違和感がありました。あくまで「から・・・」にこだわった方が印象に残るのではないかと思います。

エリアルイメージで一部紹介された作品はいつの日かじっくりと再見したいものです。当時ドキュメンタリー作品をよく作っていた頃を思い出します。

#### 6. 「わ」は力なり (HDV)

進藤信男さん 15分56秒

4月例会で「エドヒガンザクラに魅せられて」という20分の或るボランティア活動の記録を発表されましたが、前回は関係者に提供される記録の一部をノンナレーションで紹介されたものを、今回は自分の作品としてナレーションも入れてまとめられたものです。ボランティア活動の状況をドキュメンタリーとしてまとめることの難しさをこの作品からも伺えます。第三者が作品を見て何を感じ、何に気持ちをゆり動かされるのか作品構成の原点を考えさせられます。それにしても長期間に亘ってよく撮影されているご努力には敬意を表します。

#### 7. りんこうの夏 (HDV)

江村一郎さん 6分10秒

3月例会で「御坊臨港線」という作品を発表されていますが、この作品も前作の延長線上にある作品です。現在は（この気動車が）廃止されてもう見ることはできません。江村さんらしく昆虫や草花のアップを多用し、子供たちや地元のお年寄りの方たちをとり込んで、古びた気動車の寂し気に動く姿をよく描かれています。最後のところに出る「紀州鉄道」という車体の文字や御坊～西御坊という区間表示板などはトップに出し、もしこの作品でこのシリーズが終りなら「〇年〇月にこの気動車は廃止になりました」のテロップを入れてエンドにすると、観る方もぐっと惹きつけられると思います。注：紀州鉄道はこれからも存続します。（前田）

#### 8. 吉野山桜散策 (HDV)

河合源七郎さん 8分03秒

吉野山全体に主にやまざくらが咲いている風情は圧倒されるものがあり、見ていてさすが吉野のさくらだと感じ入ります。寺のカットを入れずに人物とさくらに絞られたのは良かったと思いますが類似カットが多くありますのでもう少し長さを削られては如何でしょうか。

#### 9. 花盛祭 (HDV)

渡辺雄史さん 6分50秒

紀伊国一宮、丹生郡比売神社のお祭だそうです。おごそかな神事の跡、三味線の響く野点風景、そして高下駄を履く天狗を先頭に行列する行事等丹念に記録されています。珍しいお祭で興味深く拝見いたしました。

#### 10. えびす舞で福分け (HDV)

吉岡貞夫さん 15分00秒

昨年も西宮神社のえびす舞の作品を拝見したことがありましたが、これは今年の行事の記録です。阿波木偶箱廻しを復活する会のメンバーが、伝統的な人形を使った珍しい行事で、近くからよく撮られて雰囲気は伝えられています。最初の商店街での福分け等が行われ、次に西宮神社での神事と境内での舞が奉納されるという順序で構成されています。拝見していて商店街での舞は後の方が判り易いように思いましたが如何でしょうか。

#### 11. ダンスは狭山池で (HDV)

宮井 健さん 4分00秒

狭山池まつりの舞台で若い人たちが思いっきり踊っている様子を、軽快なメロディに合わせてうまく表現されています。若いっていいなあとしばし魅かれていました。楽しい作品でした。

#### 12. ヴェネツィア (HDV)

対馬 昭さん 7分00秒

作者のハイビジョン最初の作品だそうです。なかなかカメラワークもよく、手持ち撮影だとのことでしたが、画面のブレもなく落ちついて撮られているので感心いたしました。水の都ヴェネツィアの雰囲気もよく出ていたと思います。建物や橋の名前などの文字が出てきますが、もう少し小さい方が雰囲気を壊さなくてよいと思います。

また作品構成上は、日の出から始めて朝の風景、昼間の情景、そして夕景、夜景へ

とつなげた方が観る方にとっては自然に受け入れられます。旅行の記録で一般向けの作品をつくる場合は、必ずしも撮った順序に並べなくとも、前後の関係をスムーズに構成していくよう考えて下さい。それにしても素晴らしい旅をされましたね。

#### 13. 石賀さんのエイジレス人生 (HDV)

黒田敏彦さん 12分00秒

埼玉の彩の国全国コンテストで見事入賞を果たされた云わば凱旋上映といった作品です。画面は平成18年10月29日奈良市西迎寺で仏師石賀さん(82最)に住職から感謝状を渡すところから物語が進行していきます。釈迦三尊を彫り上げて奉納されたのです。元国鉄職員だった石賀さんが定年後に始めた仏像づくり30年、多数の仏像を彫り続け後に続く人達を指導されています。いつまでも元気で仏像を彫り続けておられる石賀さんに長期間密着されて撮影してこられ貴重なドキュメンタリー作品となっています。この記録を撮り続けられた作者もまたエイジレス人生のように思います。入賞おめでとうございました。

#### 14. 南洋岸の遺産

山本正夢さん 6分30秒

1994年に独立したパラオ。戦時の日本の兵器がまだ多数遺跡として残在していて、激しかった当時のことがしのべれます。31年間も日本が統治してきて、その間培われた信頼と友情のもと今日の親日国家パラオがあるとのことです。友好の証として日本のODAで造られた大きな橋の一角に日の丸を描いた銘板があり印象に残りました。

#### 15. さくらのある風景 (HDV)

石垣禎章さん 5分20秒

石垣さんの久々の作品です。ハイビジョンにも取り組まれて元気で頑張っておられることに何かほっとする気持ちです。これからの作品の方も楽しんで作ってください。画面は桜ノ宮から中之島までのさくら満開の折に撮られたもので美しい風景展開します。大阪城の大きな文字は不要でしょう。水陸両用車の説明文字も小さ目(控え目)にした方が映像のムードを壊さずいいと思います。楽しいひとときでした。